

DIN レールマウントキット

# AT-DRMT-J01 ユーザーマニュアル

この度は、AT-DRMT-J01 をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、弊社製メディアコンバーターおよび電源アダプター用のDINレールマウントキットです（本製品が対応している機器については、本書の「5 設置 / 設置準備 / 対応機器」をご覧ください）。本製品1つに、対応の機器を2つまで装着できます。  
本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。

### 適切な部品で正しく設置する

取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります。



## 1 特長

- DINレール（DIN規格35mmレール）上に小型メディアコンバーター機器を2つまで装着可能

### 製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせいたします。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

## 2 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。

- AT-DRMT-J01（AT-DRMT-J01 本体、DINレール取り付け金具 1組）\*
  - ケーブルガイド（1個）
  - 機器取り付けネジ（座金組み込みネジ（M3×6）2本）
  - ユーザーマニュアル（本書）
- \* 本製品は、AT-DRMT-J01 本体とDINレール取り付け金具が組み立てられた状態で梱包されています。

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包することが望まれます。  
再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

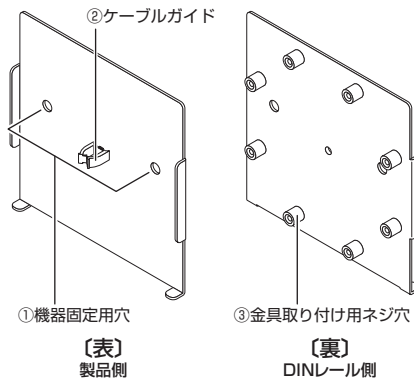
## 3 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

## 4 各部の名称と機能

本製品は、次のAT-DRMT-J01 本体とDINレール取り付け金具が組み立てられた状態で梱包されています。

### AT-DRMT-J01本体



### DINレール取り付け金具

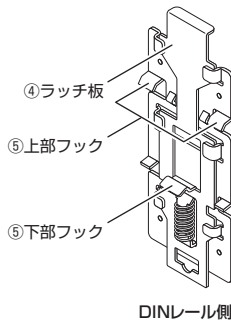


図1 AT-DRMT-J01 外觀（本体とDINレール取り付け金具を取り外した状態）

- 機器固定用穴**  
設置する機器をAT-DRMT-J01 本体に固定する際、機器取り付けネジを通す穴です。
- ケーブルガイド**  
電源ケーブルのたるみを防止するガイドです。
- 金具取り付け用ネジ穴**  
DINレール取り付け金具をAT-DRMT-J01 本体に固定するためのネジ穴です。
- ラッチ板**  
DINレールに取り付けるための板です。
- 上部フック・下部フック**  
DINレールを挟み込んで、本製品を固定します。

## 5 設置

- 警告** 弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、火災、故障の原因となります。
- 水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほごりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。
- 注意** 製品に関する最新情報は弊社ホームページにて公開しておりますので、設置の際は、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

## 設置準備

### ● 設置するときの注意

- 設置にあたっては、次の点にご注意ください。
- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。
  - テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
  - 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
  - 底部を上にして設置しないでください。
  - 十分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。
  - 本体の上にものを置かないでください。
  - 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
  - 本製品は屋外ではご使用になれません。
  - コネクタの端子にはさわらないでください。（静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。）

### ● 対応機器

本製品には、次の機器を2つまで、任意の組み合わせで装着できます。

- メディアコンバーター
  - ・ LMC100 シリーズ  
LMC101/LMC102/LMC103/LMC103LH
  - ・ LMC110 シリーズ  
LMC111/LMC112/LMC113
  - ・ MMC200 シリーズ  
MMC201/MMC202
- メディアコンバーター用電源アダプター
  - ・ PSAD-05

対応機種が追加された場合、弊社ホームページの「製品」、またはデータシートでお知らせすることがあります。メディアコンバーター本体のマニュアルとあわせてご確認ください。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

### ● 設置可能な方向

本製品を使用して、機器を次の任意の方向に向けて設置することができます。

DINレールに対するDINレール取り付け金具の取り付け向きは一定です。AT-DRMT-J01 本体とDINレール取り付け金具を固定する向きによって設置方向を決定できます。

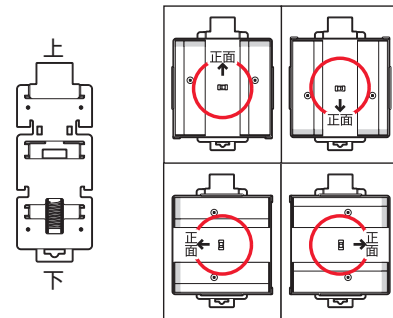


図2 DINレール取り付け金具の向きと設置方向

- 警告** 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、火災、故障の原因となります。
- 取り付け用のネジは必ず同梱のものを使用してください。同梱以外のネジなどを使用した場合、火災や感電、故障の原因となることがあります。
- 固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。
- 機器の正面とは、それぞれ次の面を指します。
  - ・ LMC100 シリーズ/LMC110 シリーズ/MMC200 シリーズ  
ローカルポート（100BASE-TXポート）がある面
  - ・ PSAD-05  
入力側DCソケットがある面

### ● ケーブルガイドの取り付け

機器を設置する際に、電源ケーブルのたるみを防止するため、ケーブルガイドにケーブルを固定することができます。

出荷時の状態では、ケーブルガイドは本製品に取り付けられておりませんので、機器の固定の前にケーブルガイドを取り付けておくことをおすすめします。

**ヒント** 電源ケーブルを固定しない場合や別の場所に固定する場合は、この手順は必要ありません。

同梱のケーブルガイドを、AT-DRMT-J01 本体の表から、中央の穴に取り付けます。

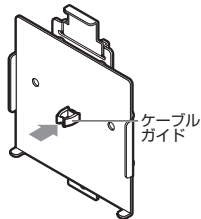


図3 ケーブルガイドの取り付け

## 設置

機器の正面を上に向けて設置する場合と、それ以外の方向に向けて設置する場合とで、本製品と機器の取り付け手順が異なります。

### ● 機器を設置する（上向きに設置する場合）

1 DIN レールに設置する機器の側面のネジを1つ外します。プラスチックドライバーを使用して、機器の上下のカバーを固定しているネジのうち、正面に向かって右側の面のネジを外します。

**ヒント** 外したネジは、本製品による設置には使用しません。機器を本製品から外して使用する場合に備えて、大切に保管してください。

2 機器をAT-DRMT-J01 本体に固定します。固定する機器の正面をAT-DRMT-J01の上辺（ガイドのない辺）に向けて、ネジ穴の位置を合わせます。本製品に付属している機器取り付けネジを使用して、AT-DRMT-J01 本体の裏から機器固定用穴と機器のネジ穴を共締めし、AT-DRMT-J01 本体に機器を固定します。

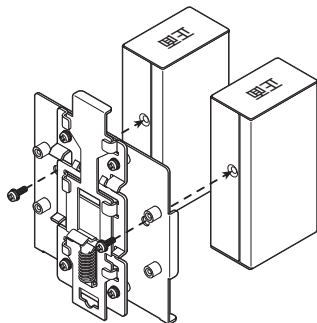


図4 設置する機器の固定

### ● 機器を設置する（上以外の向きに設置する場合）

1 AT-DRMT-J01 本体とDIN レール取り付け金具を取り外します。プラスチックドライバーを用いて、AT-DRMT-J01 本体とDIN レール取り付け金具を固定しているネジ（座金組み込みネジ、M3×6）4本を外し、AT-DRMT-J01 本体とDIN レール取り付け金具を分離します。

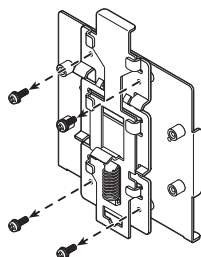


図5 本体とDIN レール取り付け金具の取り外し

2 DIN レールに設置する機器の側面のネジを1つ外します。プラスチックドライバーを使用して、機器の上下のカバーを固定しているネジのうち、機器の正面に向かって右側の面のネジを外します。

**ヒント** 外したネジは、本製品による設置には使用しません。機器を本製品から外して使用する場合に備えて、大切に保管してください。

3 機器をAT-DRMT-J01 本体に固定します。固定する機器の正面を、AT-DRMT-J01の上辺（ガイドのない辺）に向けて、ネジ穴の位置を合わせます。

機器取り付けネジを使用して、AT-DRMT-J01 本体の裏から機器固定用穴と機器のネジ穴を共締めし、AT-DRMT-J01 本体に機器を固定します。

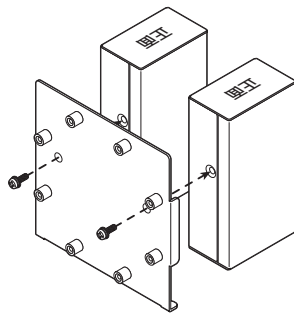


図6 設置する機器の固定

4 AT-DRMT-J01 本体にDIN レール取り付け金具を固定します。AT-DRMT-J01 本体とDIN レール取り付け金具を「●設置可能な方向」で確認した方向に向けて、重ね合わせます。AT-DRMT-J01 本体とDIN レール取り付け金具を一緒に裏返します。手順1で外したネジ4本を、DIN レール取り付け金具の穴を通してAT-DRMT-J01 本体の対応する金具取り付け用ネジ穴にはめ、しっかりと締めます。次の図は、機器の正面を右側に向けて設置する場合の例です。

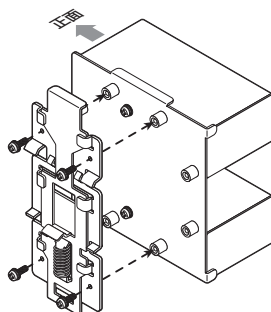


図7 DIN レール取り付け金具の固定

### ● DIN レールへの取り付け

1 DIN レールに本製品を固定する位置を決めます。DIN レール取り付け金具の上部の2つのフックをDIN レールに掛けます。

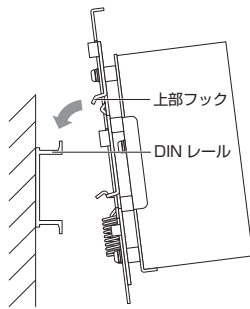


図8 DIN レールへの位置決め

2 DIN レールに本製品を固定します。DIN レール取り付け金具のラッチ板の上部を押してラッチ板を下げて、ラッチ板の下部のフックでDIN レールを挟み込みます。

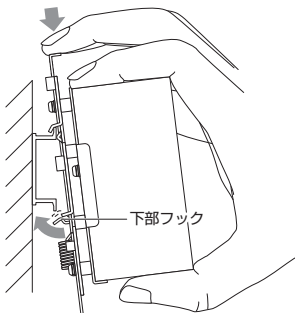


図9 DIN レールへの固定

**注意** 落下防止のため強力なバネを使用していますので、ラッチ板を押し下げる際は、設置する機器全体を握り込むようにしっかりと持ってください。

### ● 電源ケーブルの固定

必要に応じて、ケーブルガイドに電源ケーブルを固定します。次の図は、メディアコンバーターと電源アダプターを組み合わせで設置する場合のケーブルの固定の例です。

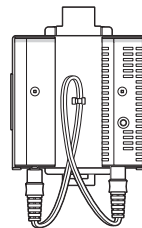


図10 ケーブルガイドによる電源ケーブルの固定

**注意** 光ファイバーケーブルやUTPケーブルをケーブルガイドに固定しないでください。ケーブルやコネクタに無理な力がかかり、ケーブルが破損することがあります。

### ● DIN レールからの取り外し

本製品をDIN レールから取り外す場合は、ケーブル類をすべて外した状態で、DIN レール取り付け金具のラッチ板上部を押し下げ、下部フック、上部フックの順にDIN レールから外します。

## 6 製品仕様

外形寸法(最大)	86(W)×21(D)×113(H)mm
質量	130g

## 7 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

○ アライドテレスিস株式会社 サポートセンター  
<http://www.allied-telesis.co.jp/support/info/>  
 ☎ 0120-860772  
 携帯電話/PHSからは: 045-476-6203  
 月～金(祝・祭日を除く) 9:00～12:00  
 13:00～17:00

## 8 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレスिस株式会社(弊社)の親会社であるアライドテレスिसホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレスिसホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

©2009-2016 アライドテレスिसホールディングス株式会社

## 9 商標

CentreCOMは、アライドテレスिसホールディングス株式会社の登録商標です。

## 10 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただけますようお願いいたします。

## 11 輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

## 12 マニュアルバージョン

2009年 10月 Rev.A 初版  
 2016年 1月 Rev.B 仕様変更